



図 3.1-36 藻場の位置

(3) 生態系の状況

1) 対象事業実施区域及びその周辺の自然環境の類型化

対象事業実施区域及びその周辺の自然環境について、植生図（図 3.1-34）の凡例から表 3.1-79 に示す 9 の環境類型に区分した。環境類型区分は、図 3.1-37 のとおりである。

表 3.1-79 環境類型区分一覧

| 図中 番号 | 環境類型区分 | 植生の凡例 |
|----------|----------|---|
| | | 対象事業実施区域の周辺 |
| 1 | 常緑広葉樹林 | シイ・カシ二次林、タブノキ・ヤブニッケイ二次林 |
| 2 | 常緑広葉樹低木林 | マサキ・トベラ群集 |
| 3 | 落葉広葉樹林 | コナラ群落（VII） |
| 4 | 植林地 | スギ・ヒノキ・サワラ植林、アカマツ植林、クロマツ植林 |
| 5 | 竹林 | 竹林 |
| 6 | 草地 | ススキ群団（VII）、チガヤ・ススキ 群落、ゴルフ場・芝地 |
| 7 | 耕作地 | 畑雑草群落 |
| 8 | 市街地等 | 路傍・空地雑草群落、市街地、緑の多い住宅地、残存・植栽樹群をもった公園、墓地等、工場地帯、造成地、自然裸地 |
| 9 | 開放水域 | 開放水域 |

注：図中番号は、図 3.1-37の番号に対応する。

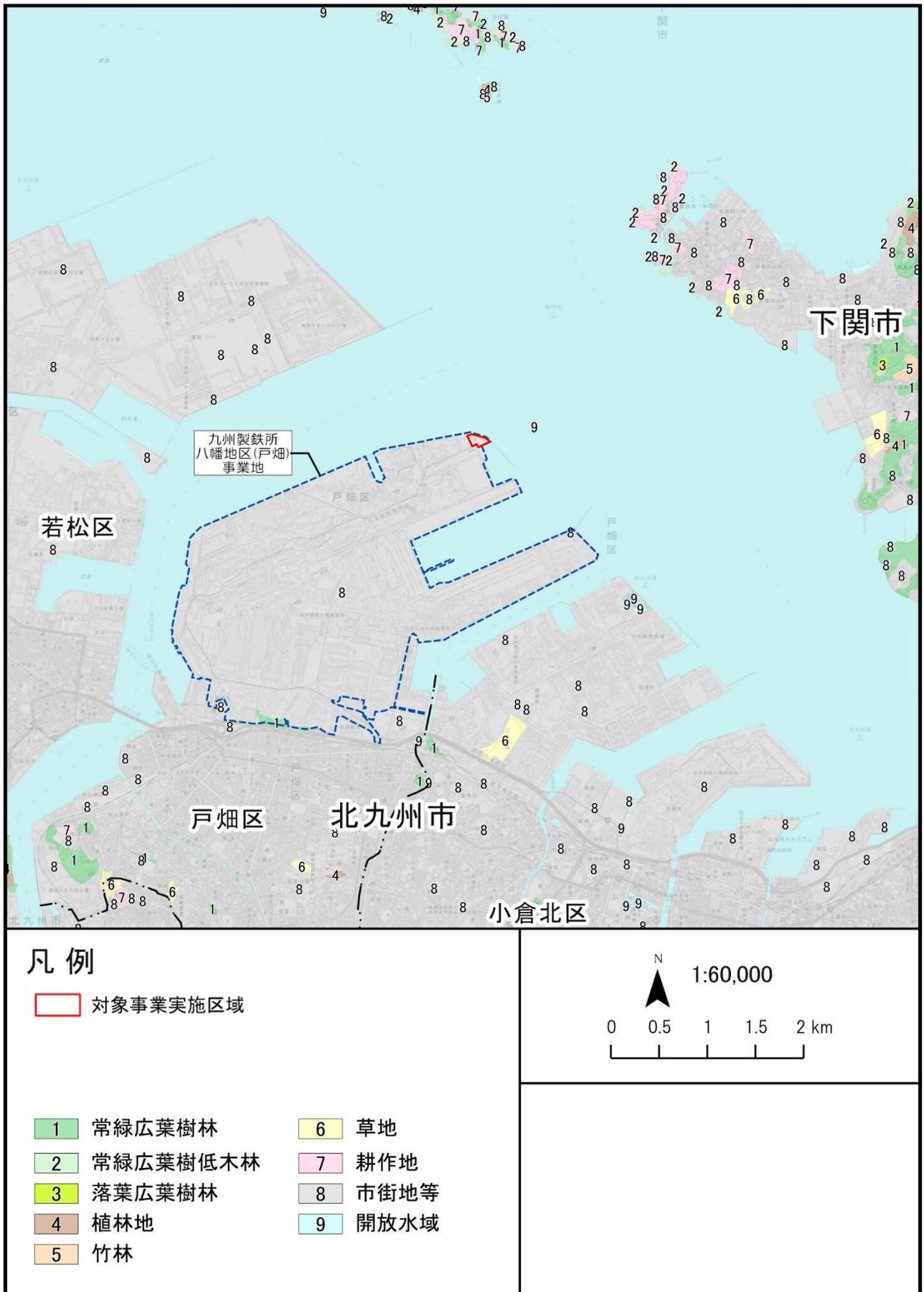


图 3.1-37 環境類型区分図

2) 生態系の概要

対象事業実施区域及びその周辺の生態系について、動物及び植生の既存資料に基づいて整理した。

対象事業実施区域の周辺は、主に工場地帯、造成地が占めており、一部に路傍・空地雑草群落、ゴルフ場・芝地等の草地、シイ・カシ二次林等の樹林地が分布している。

このような場所には、下位の消費者であるアオイトトンボ、トノサマバッタ、モンキチョウ等の昆虫類、中位の消費者であるニホンアマガエル、ヌマガエル等の両生類、キジバト、ヒバリ、ホオジロ、セッカ等の鳥類、ハタネズミ等の小型哺乳類、上位の消費者であるシマヘビ等の爬虫類、タヌキ等の中型哺乳類及びサシバ、ノスリ、ハヤブサ等の猛禽類が生息し、食物連鎖を形成していると考えられる。

対象事業実施区域及びその周辺の食物連鎖模式図は、図 3.1-38 のとおりである。

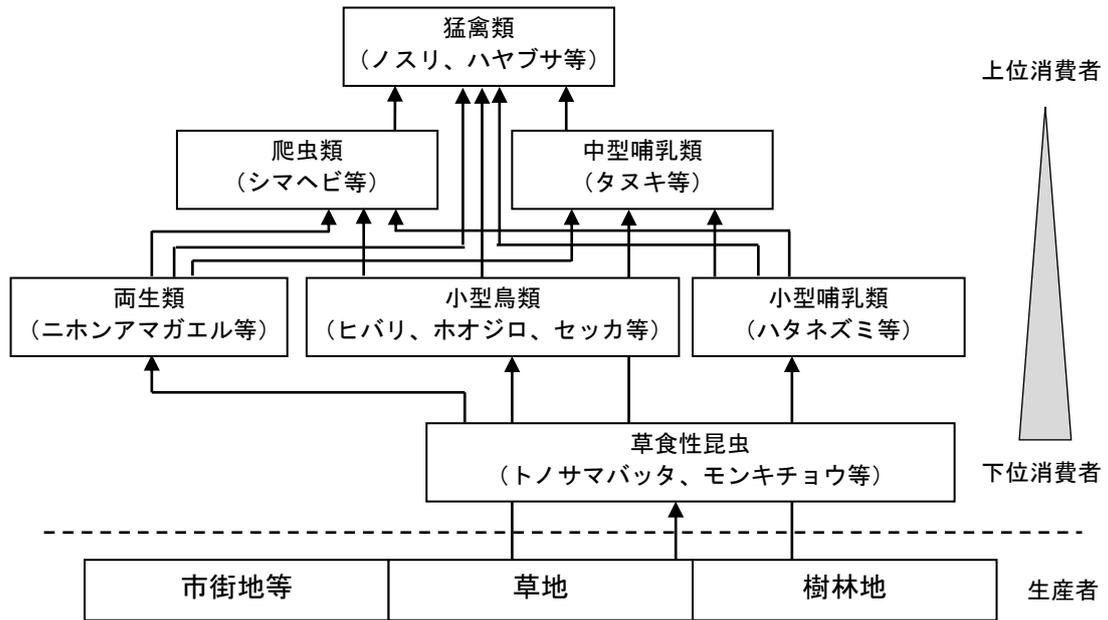


図 3.1-38 対象事業実施区域及びその周辺の世界連鎖模式図